



23

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年10月11日号

編集 / 毎日新聞社販売局D.クリエイションセンター



そこが聞きたい

## 「新型コロナ ワクチン開発」 =オピニオン面

13日(火)

新型コロナウイルス感染症のワクチンの開発が、各国で進んでいます。パンデミック（世界的大流行）の収束の切り札として期待されていますが、開発のスピードを優先さ

せるあまり、安全性の確認が不十分なまま、接種が始まる恐れも指摘されています。世界保健機関（WHO）によると、世界で開発中のワクチンの10候補が臨床試験の最終

段階を実施しているとされます。開発の展望と接種のあり方について、東京大医科学研究所ワクチン科学分野の石井健教授（51）=写真=に迫ります。



### 特集 ワイド

## 立憲民主党・辻元清美副代表インタビュー 「安倍政権の総括と菅政権の展望」

13日(火) = 夕刊特集ワイド

菅義偉内閣が発足して約1カ月。日本学術会議の任命拒否問題で揺れる中、歴代の首相11人と論戦を繰り広げてきた辻元清美・立憲民主党副代表（60）=写真=は、1996年の衆院選で初当選した「同期

組」の菅首相をどう見ているのでしょうか。安倍1強と呼ばれた長期政権下で「もう安倍さん以外なら誰でもいい」と漏らしたこともある辻元氏に、安倍政権の総括と併せ、「安倍政権の継承」を掲げ

る菅内閣の展望について聞きました。



### 論点

## 「再び問う 大阪都構想」

## 大阪都構想

16日(金)

＝オピニオン面

政令市の大阪府を廃止して東京23区のような特別区に再編する「大阪都構想」の是非を問う2度目の住民投票が11月1日に投票が11月1日に開票されます。

都構想を推進する大阪維新の会創始者で、元大阪市長の橋下徹氏=写真=と、「一貫して反対している自民党市議団副幹事長の川嶋広稔氏=写真=に、

賛否の理由を詳しく尋ねました。市政に深い関わりがあり、立場の異なる2人が展開した主張を紹介します。

## 玄米茶に玄米は入っているのか

17日(土) = くらしナビ面

コンビニや自動販売機でよく見かけるペットボトルの玄米茶。あの香ばしい風味が好き、と愛飲されている方も多いでしょう。でもこのほど、読者から「玄米茶に玄米はほとんど入っておらず、精米が

使われているらしい」という情報が寄せられました。

早速取材してみると、辞書に書かれた玄米茶の定義と、メーカーの説明が随分違っていました。果たして真相は？



先日、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCA）の接触通知を受け取りました。街中を歩いているときに、街中のスマートフォンが「3密」に気をつけているのに、なんとなく熱が入っている感じがして、PCR検査を受けたいところ、結果は「陰性」でした。復讐で待機した後、仕事に誰かでも起こりうることに気づかされた。この対策は、万全にすぎない。しかし、完全に防ぐことはできない。数日間改めると、（小野田香織）



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。